運動に役立つことを考えよう
世連石川県連理事会・総会ひらく

世界連邦運動協会石川県連合会の平成25年度理事会・総会は、6月15日金沢市香林坊アトリオ4階サロンで35人が出席して開かれた＝**写真**＝。杉山栄太郎会長が開会挨拶をしたあと、宮西実副会長が議長となり議事に入った。前年度の事業・決算報告を原案どおり承認、続いて新年度の事業計画・予算を決定した。役員の一部変更と規約の改正なども承認された。

杉山会長は開会あいさつで「皆さんお忙しい中、曲げてご出席いただきありがとうございます。これも皆さんの世界連邦への強い心かと思います。振り返ってみますと、私はこの十数年の運動の中で、それが単なる宣言だけで終わっているのではないか、会費を納めるだけで終わっているのではないかと、忸怩たる思いがございます。今、世界的に見ますと、紛争のあるシリアは1千万人の難民がいると言われています。政府側にはロシア、反政府側にはアメリカが付いている。どちらも応援していないと言っているが、あれだけの兵器なり弾薬で戦闘が続いている。政府側が23機の戦闘爆撃機を保有しているということは、ロシア側が支援しているということである。そこには、大国のエゴというものがあり、その国民はかわいそうに明日も知れぬ中に置かれている。世界連邦運動の役割は、本当に素晴らしいものがあり、そういったものを助けるというとおこがましいかもしれないが、そのことに何か役立つものを一つでも二つでも見いだすということを、私たちは考える年にしたい」と述べた。

秋の講演会は好評の木戸寛孝氏（11月2日）

今年度主な事業計画は、▽恒例の秋の講演会を11月2日（土）午後1時半から金沢市香林坊2丁目の金沢エクセルホテル東急5階で開く。講師は昨年度に引き続いて2度目になる木戸寛孝氏（世界連邦運動協会常務理事、NPO法人世界連邦21世紀フォーラム代表）を招く。一般の聴講も可。聴講は無料。▽第42回世界連邦推進全国小・中学生ポスター・作文コンクールの作品募集を行う（要旨は別掲）▽会報「世界連邦石川」を年2回発行する。ほかに世界連邦運動協会本部発行の「世界連邦ニュースレター」が年6回配付される。また、今年度会計予算は総額534、226円が承認された。

次いで平口理事長から本部理事会・総会出席の報告があった。①第31回世界連邦日本大会は11月10日（日）午後2時から4時まで大阪国際会議場で開かれるので参加をしてほしい。第1部開会式・シンポジウム「今こそ　世界連邦を！」、第2部記念講演　田原総一朗氏の「どうなる世界の平和」。参加費は千円。②「世界連邦世界地図」（現在の世界連邦加盟国が分かるカラー多色刷り）を作成し、ポスター・作文募集時の学校への配付など、目に見える形の活動支援材料にしたい。③本部予算支援の登録寄付については、前年通り理事負担をお願いしたい。

世連金沢支部が会員募集

世界連邦運動協会金沢支部（杉山栄太郎支部長）は、会員増強を図るため新年度（2013年）の新規会員を募集しています。年間会費は学生会員が千円、普通会員が5千円、維持会員が1万円、賛助会員が1万5千円。会員としての権利・義務は年会費額を除き同一です。会費の納入は郵便振替で口座番号00722-0916。口座名義は世界連邦運動協会金沢支部。

世界連邦運動は地球規模の問題を扱う世界連邦政府をつくり、世界の恒久平和を築くことを目指しています。日本では戦後初期に尾崎行雄、賀川豊彦、湯川秀樹氏らが活躍しました。目的に賛同する人は誰でも会員になれます。石川県内全域から広く募集しており、とくに若い人達の積極参加を期待しています。

石川県連の新年度役員

▽参与　石野邑一▽会長　杉山栄太郎（金沢支部長）▽副会長　宮西實▽理事長　平口哲夫（金沢支部副支部長、本部理事）▽組織部長　黒川義生▽財務同　長谷えり子（本部代議員）▽広報同　祖浜賢太郎（同次長）遠藤正博▽事務局長　金子嘉久（金沢支部事務局長）▽同次長　上山桂樹（北陸愛善会会長、本部代議員・理事）、関戸正彦（本部理事）、新宅邦雄（本部代議員）▽理事　油野和一郎、阿部記代子、粟森喬、池田行雄、和泉美智枝、遠藤正博、梶文秋、川裕一郎、北川雅一（本部代議員）、木本利夫、桑原豊（本部代議員）、下沢佳充、田中仁、鶴賀雄子、藤谷忠安、法花堂見英、松原繁子（本部代議員）、森一敏、山田憲昭▽監事　山上邦夫、中川豊作

島村隆氏（世界連邦運動協会石川県連前理事長）が逝去さる4月2日、90歳。存命中の住所は金沢市神谷内町ト4。平成5年、稲元太市氏の後を受けて県連理事長となり、同18年平口哲夫現理事長就任まで13年間を務め、そのあと相談役に。金沢電話局職員から金沢市議を3期、石川県議を5期務めたのをはじめ、社会福祉法人千坂福祉協会を設立し初代理事長として千坂、山王、神谷内の3保育所を経営した。